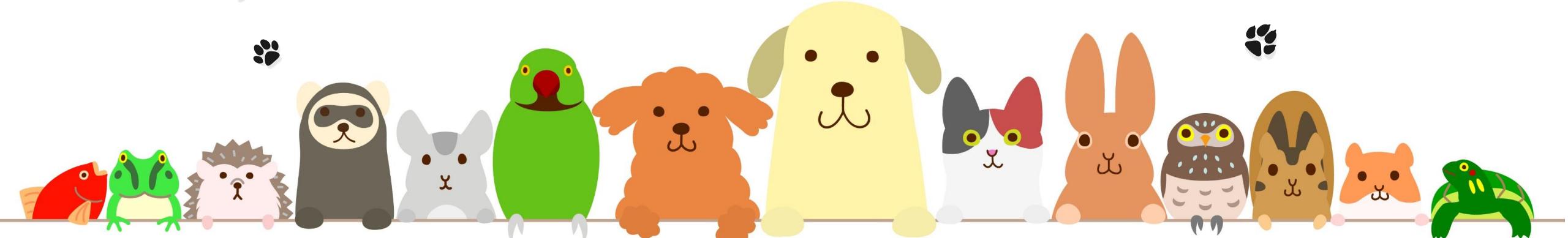


希望の足跡

保護犬0を目指す
アニマルウェルビーイングの実現

IPU環太平洋大学サステナブルブランドプロジェクト
経済経営学部 現代経営学科3年 扇野ゼミ所属

柴田 咲



きっかけ

この活動の原点には、私が小学生のときに出会った一匹の保護犬の存在があります。

その子の名前は「たらちゃん」です。

もともとはペットショップで犬を探していたのですが、たまたま目にした譲渡会のチラシに惹かれて足を運んだことがきっかけで、たらちゃんと出会い、家族として迎えることになりました。

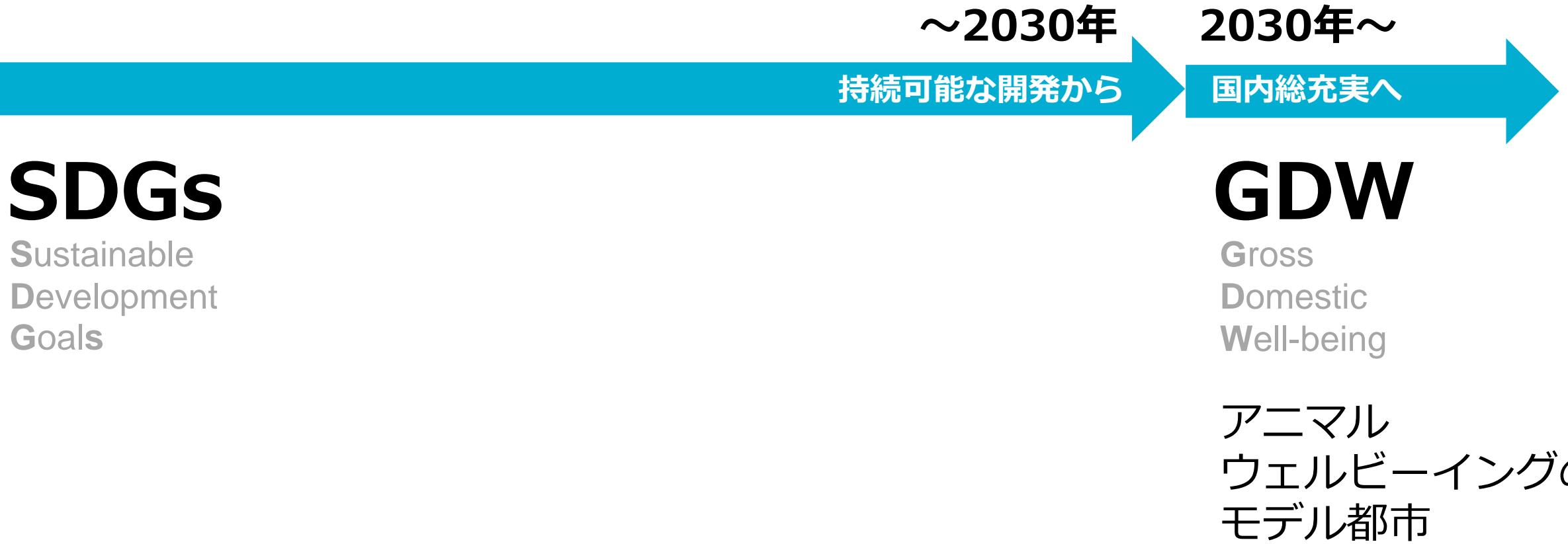
それまで私は「犬は買うもの」だと思っていたのですが、
「命を譲り受ける」という選択肢を知った瞬間でもありました。

たらちゃんと暮らすなかで、「この子はどんな過去を過ごしてきたんだろう」と思うことが何度もありました。

だからこそ私は、今度は自分が“つなぐ側”として、保護された犬や猫たちが安心して暮らせる社会をつくりたいと思うようになりました。



活動計画



①保護犬の現状を知る 2025年前半～



保護犬に関わる方々と勉強会を開催
産学官連携で政策提言

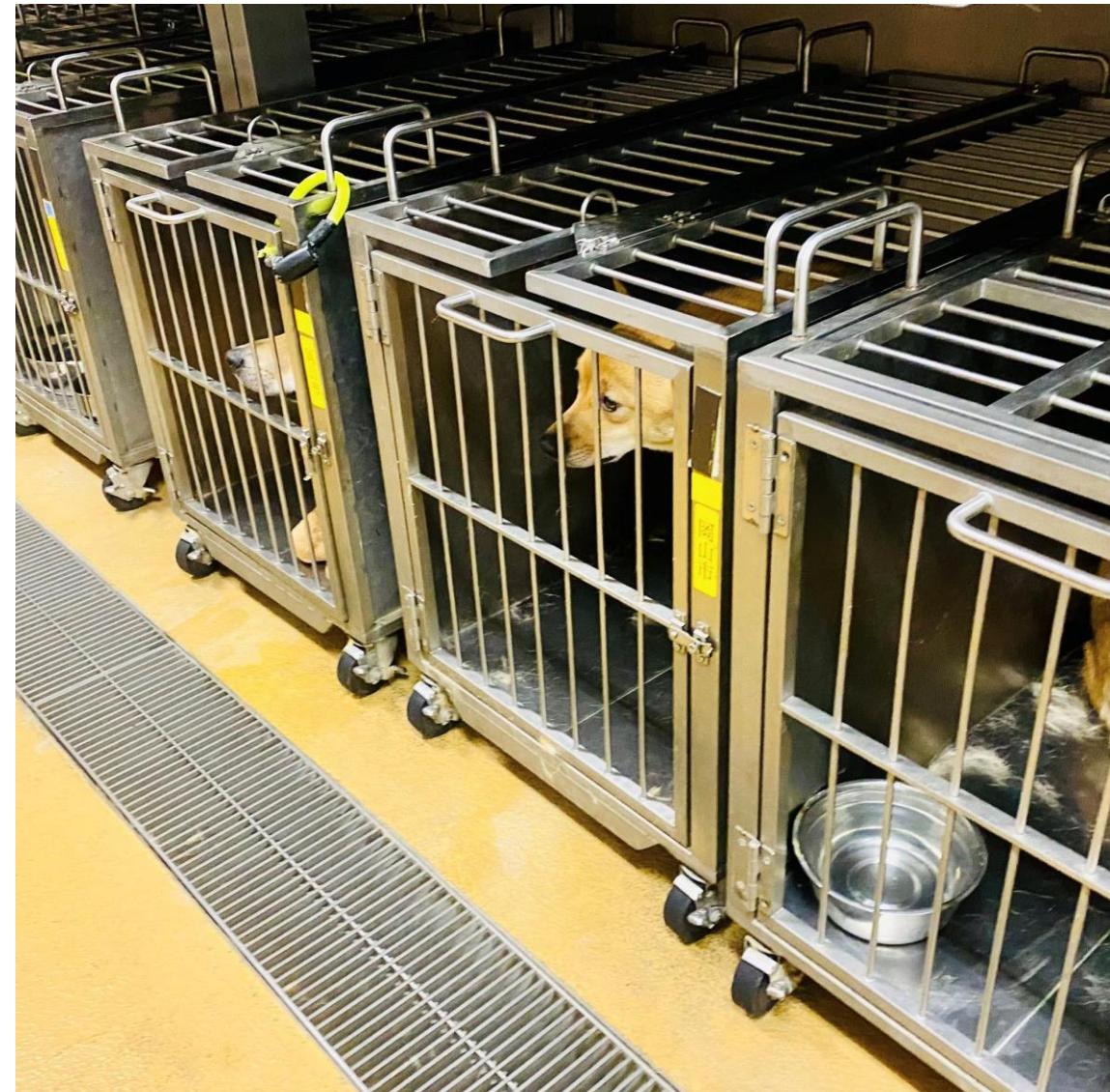
2025年5月 岡山市保健所にて保護犬・保護猫の見学



30頭以上いる空間なのに静まり返ったシェルター



人が近づいてもおびえて動かない保護犬たちに衝撃を受ける



岡山市の現状

平成29年（2017年）から保護犬の殺処分0を継続しているが
保護数が増えるわりに譲渡数がなかなか進まない

【犬の保護数・譲渡数の推移】 (単位:頭)

	R2	R3	R4	R5	R6
保護数	216	240	229	204	246
譲渡数	174	202	187	166	181

上のうち 野犬の成犬は以下のとおり

- R4年度 保護数 57頭(うち譲渡19頭)
- R5年度 保護数 48頭(うち譲渡35頭)
- R6年度 保護数 80頭(うち譲渡33頭)

引用：https://www.city.okayama.jp/shisei/cmsfiles/contents/0000073/73647/03_yaken.pdf

理念体系

パパス

動物愛護でつくる人と動物が共生する岡山

ビジョン

岡山市を人と動物が共生する
アニマルウェルビーイングのモデル都市にする

ミッション

保護犬・保護猫0

1. 動物愛護を子どもから大人まで学べる教育環境の整備
2. 行政・企業・学校・市民団体との連携
3. 動物愛護を福祉・観光・まちづくりと融合

9月23日 おかやまのまち政策アイデア甲子園2025に挑戦



2025 9/23 時間:10時~16時
火・祝 会場:下石井公園
※天候によっては中止になる場合もございます。

おかやまのまち政策アイデア甲子園2025

政策コンテスト 学生ブース お笑いステージ 屋食マルシェ



公益社団法人 岡山青年会議所

おかやまのまち政策アイデア甲子園2025

2025 9/23 火・祝 時間:10時~16時 会場:下石井公園
※天候によっては中止になる場合もございます。

ステージ前観覧申し込みフォーム
観覧者は事前の登録(先着順)となります。
専用申し込みフォームより登録をしてください。

タイムスケジュール

10:00	オープニング(理事長挨拶・うらじや演舞・趣旨説明・マルシェオープン)
10:30	講師トークステージ(越智 大貴 氏)
11:00 ~ 11:10	政策コンテストステージ発表1校目
11:15 ~ 11:25	政策コンテストステージ発表2校目
11:30 ~ 11:40	政策コンテストステージ発表3校目
11:45 ~ 11:55	政策コンテストステージ発表4校目
12:00 ~ 12:10	政策コンテストステージ発表5校目
12:15 ~ 12:25	政策コンテストステージ発表6校目
14:00	お笑い芸人ステージ(漫才&MC)
14:30	表彰式・講評
15:00	終了・自由解散/アンケート実施

一般社団法人 WONDER EDUCATION代表理事・経営者主導者教育アドバイザー
越智 大貴 氏
学生時代に出会ったどのような料をきっかけに「のなかをおもろく学びあい、みんなで創る」教育活動に取り組む。
「生きる知識と力・学ぶ力」を育むイマジンシング教育や子どもの権利の研究・実践をリファームに、
「子ども・若者主導のよのなかづくり」を企画で実践中。

政策コンテスト

未来の政策を考えよう

岡山市内の大学生および高校生を対象に、それぞれが思い描く「理想の岡山」についてプレゼンテーションを行う政策コンテスト!

コンテスト後にアンケート投票を行います。アンケート結果に基づき「最優秀賞」「優秀賞」「理事長賞」を選出します。受賞チームには、表彰および記念品の贈呈を行います。「最優秀賞」に選ばれた提案内容は、「意見箱」して岡山市に提出します。これにより、若者の声が行政に届く機会を創出します。

評価表彰

各校の政策を見てみよう!
事前投票はこちらから▶

学生ブース 各高校大学の政策アイデアを発表するブースを設置しています。

岡山大学 岡山商科大学 無花果学園 IPU・碧太平洋大学 岡山理科大学

地図

主催:公益社団法人岡山青年会議所
後援:岡山県 高校教育課/岡山市 議事監視委員会事務局
お問い合わせ先:公益社団法人岡山青年会議所 ドームのおかやま創造委員会 TEL:086-223-0938
新規会員登録 mail:seisakukoushien2025@okayama@gmail.com

公益社団法人 岡山青年会議所
Home Page



SUSTAINABLE
BRAND PROJECT

東岡山工業高等学校の生徒さんと発表した政策

① 教育・共生

全国の保育園から高校に動物小屋を設置

子どもたちが日常的に動物と触れ合い、命の尊さを学べる教育環境を整備。

② 医療・福祉

動物の医療費を3割自己負担に制度化

人間の医療保険制度を参考に、動物医療へのアクセスを改善。

③ 法律・安全

●動物虐待・飼育放棄・遺棄に対する厳罰化

懲役20年以上または2,000万円以下の罰金を科し、虐待や飼育放棄・遺棄を抑止。

●アニマルポリスを設置

専門の警察機関が動物虐待・飼育放棄・遺棄を監視・取り締まり。

④ 地域活性・交流

大型商業施設を中心に動物イベントや触れ合いの場を設置

市民が動物と交流できる機会を増やし、地域の賑わい創出や観光にもつなげる。

岡山青年会議所理事長賞を受賞

6チームエントリー

最優秀賞は岡山大学医学部チームの防災政策

IPU×東岡工合同チームは動物愛護に関する政策



↑2025年度
公益社団法人岡山青年会議所
第75代理事長 妹尾 愛希氏

2025年11月からの岡山市議会本会議にて政策提言



保護犬の活動をされている
岡山市議会議員 安東真理先生により
岡山市議会に今回の政策をアレンジして
提言

ブースの資料提供は
岡山市保健所衛生課が全面協力



活動計画

～2030年

持続可能な開発から

2030年～

国内総充実へ

SDGs

Sustainable
Development
Goals

②保護犬シェルターのQOL改善 2025年後半～



アロマを活用して、保護犬と
そこで働く人のQOLを上げる商品を開発

①保護犬の現状を知る 2025年前半～



保護犬に関わる方々と勉強会を開催
産学官連携で政策提言

GDW

Gross
Domestic
Well-being

アニマル
ウェルビーイングの
モデル都市

アロマを活用しシェルターの環境改善

①保護犬の幸せホルモンを分泌させるアロマ

→恐怖心を少しでも和らげ、人間馴れ訓練を推進

②シェルター内の臭いを消臭するアロマ

→市内飲食店から回収したコーヒーかすを利用

2026年に
商品化を
目指す



まずはたらちゃんで実験

＜たらちゃんの特徴＞

小さい頃から夜になると不安になるのか、鳴いてなかなか寝てくれないことがある。

譲渡され、大切に育てても、
保護犬時代の不安感が抜けないのでと感じる。



ペット専門店の犬用アロマは全く効果無し



missing you

お留守番や旅行に

犬はひとりで家にいるときや知らない場所で寝るとき、私たちが想像するよりもずっと淋しかったり、不安な気持ちでいることがあります…そんな、お留守番や旅行時に感じる不安や孤独感を和らげ、安眠に誘うブレンドのアロマリキッドです



カヌカ



真正ラベンダー



プチグレン



メイチャン



マジヨラム

引用：https://item.rakuten.co.jp/iimonotokusen/plugaroma-06/?variantId=623&s-id=ph_pc_itemimage

ラベンダーも効果無し

〈効能〉

心身をリラックスさせる
不眠やストレス、イライラを緩和

たらちゃんの場合

- 近づけた時：あまり反応示さなかった。
- 近くに常に置いていたが、変化無し。
- ラベンダーの欠点として、常に置いておくので香りが2~3日で薄くなつた。



バナナに期待大

<効能>

リラックス効果、幸福感

バナナのアロマキャンドル

- 近づけた時：あまり反応示さなかった。夜、電気を消す少し前にキャンドルをつけて寝ると夜に鳴くことが減った。
- 落ち着きがなくなったときに灯すとその症状が治るのが早いと感じた。
- キャンドルなので、火を灯せば香りがして、ラベンダーのように薄れることなく、必要な時に香らせることができるので、便利だった。
- 一緒にいる家族も癒された。



2025年11月3日 保護犬譲渡会イベント参加

来場者は1000人を超え、ジビエ丼も50食売れたものの、**保護犬の譲渡は0**
一般家庭への譲渡するためには、様々な審査のハードルが高く、譲渡が進まない現状を知る。



活動計画

SDGs

Sustainable
Development
Goals

～2030年

持続可能な開発から

2030年～

国内総充実へ

GDW

Gross
Domestic
Well-being

アニマル
ウェルビーイングの
モデル都市

③動物愛護のための環境整備 2026年～



企業向け譲渡の推進
岡山市のブランディング

②保護犬シェルターのQOL改善 2025年後半～



アロマを活用して、保護犬と
そこで働く人のQOLを上げる商品を開発

①保護犬の現状を知る 2025年前半～



保護犬に関わる方々と勉強会を開催
産学官連携で政策提言

2025年12月6日 市議会にて動物愛護の政策提言



●企業向けの譲渡を盛り込むが、過去の事例がない。

●学校向けへ推進を図るも、岡山市教育委員会としては、モルモットの飼育をしていることもあり却下。

●動物愛護を軸とした「福祉・観光・まちづくり」の融合については、すでに民間でやっているということで却下。



まずは産学連携で
企業向け譲渡で
実績づくり

企業向け保護犬譲渡



IPUが中心になり、
アニマルウェルビーイング認証制度
「IPU E-Animals（IPUエシカルアニマルズ）」を
立ち上げる

企業側メリット

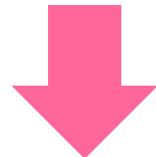
- 保護犬を引き受けることによって
CSR・SDGs・ウェルビーイングの活動を見える化できる
- アニマルセラピーによって
社員への人材育成・メンタルケアに活かせる

行政側メリット

- 譲渡のスピード化
- 税金を最小限に抑えて保護犬0を達成できる

動物愛護の岡山市というブランディング

将来的に岡山市が
制度を取りめるような形で蓄積データを整備し、
エビデンスづくりを進める。



アニマルウェルビーイングの
モデル都市へ